

ほほえみ学級 学級活動指導案

指導者 藤田 和江

支援員 山内 久美子

児童 第1学年2名 第5学年3名 計5名

場所 ほほえみ教室

- 1 議題名 「学級をもっとよくしよう ～ごほうびお楽しみ会をしよう～」
学級活動(1)ア 学級や学校における生活上の諸問題の解決

2 活動を意図した背景

(1)児童の実態

本学級の児童は、1年生は学級に慣れ、5年生は掃除の際に進んで1年生にやり方を教えたり、一緒に遊んだり仲良く活動できる場面が増えてきている。また、同じ学年の友達とも仲良く遊んだり、学習をしたり交友関係に広がりが見られる。

1学期は、学級目標を決めたり、学級目標が達成できているかを表す方法を決めたりと、みんなて話し合い活動を進めてきた。これまで話し合い活動を重ねることで、1年生は、自分の考えを発表することに少しずつ慣れ、5年生は、自分の意見を発表することや、学級会に向けて提案内容を準備し提案すること、司会をすることに慣れてきている。しかし、全体の中で意見を話すことができても、友達と自分の意見を比べることや、友達の意見のよさを取り入れながら、自分の意見発表することには、未だ慣れていない。

(2)教師の思い・願い

本題材は、第2回学級会の際決められた、ごほうびのお楽しみ会の内容を具体的に決めるものである。前回、学級目標への取り組みについてみんなて決めたことで、主体的に学級目標を意識して、めあてをたてて取り組む姿が見られ、達成の証としての宝石が貯まってきた。目標の40個を達成することで、お楽しみ会にやりたいことが、議題として選定された。

お楽しみ会は、自分たちのやりたいことを企画実行することができる機会となる。そのため、やりたい事を出しやすいが、お楽しみ会までの時間の中で準備・実行できるものに、絞り込むことが必要になる。その話し合いを小集団ですること、やりたい理由の主張だけではなく、準備ができてかつみんなが楽しめるものという会の趣旨に沿った内容に迫れるように指導したい。

5年生は、これまで児童が主体的に企画運営していけるよう、提案者と、司会者とを交代で受け持ち話し合いを進めてきた。相手の意見に賛同する姿勢を大事にしながら、よりよくするための意見を選んでいけるよう、相手の意見のよさに気づけるようにしたい。本学級でこのような話し合い活動の経験を積むことで、集団での意見の出し方や、合意形成の仕方を学ぶ機会とし、委員会活動やクラブ活動等、集団での話し合いでも自分の意見を持ち、主体的に参加できるようにしたい。

1年生は、柱に沿って自分の思いや考えについて、理由をつけて言えるようにしたい。また、自分と意見が異なっても、友達の考えをしっかりと聞ける態度を養い、好ましい人間関係づくりに

つなげていきたい。

(3) 研究主題に関わって

視点1 かかわる について

- ・話し合いで意見をまとめる際、5年生が中心になって1年生と意見を交流し合うことで、一人一人の意見を反映した考えが出せるようにする。
- ・決め方について「準備ができるか」と「みんなが楽しめるか」に焦点化し、集団としてよりよい意見を選択したり、まとめたりしやすくするようにする。

視点2 つながる について

- ・これまでの学級目標に対する取り組みの成果が現れ、お楽しみ会が実現できることで、今後も目標を意識した取り組みにつなげていくようにする。
- ・自分たちで準備していくことで、「自己実現」の機会が、他の学校生活に生きるようにする。

3 活動のねらいと評価規準

【活動のねらい】

学校生活をより楽しく豊かなものにするため、友達の意見を踏まえながら、自分たちで企画運営できるお楽しみ会の計画を考える事ができるようにする。

【評価規準】

よりよい生活や人間関係を築くための知識・技能	1年 みんなで楽しい学級生活をつくるために他者と協働して取り組むことの意義を理解している。 話し合いの進め方に沿った意見の発表の仕方や他者の意見の聞き方を理解し、活動の方法を身に付けている。
	5年 みんなで楽しく豊かな学級や学校の生活をつくるために他者と協働して取り組むことの意義を理解している。 合意形成の手段や深まりのある話し合いの進め方を理解し、活動の方法を身に付けている。
集団や社会の形成者としての思考・判断・表現	1年 学校生活を楽しくするために、問題を発見し、解決方法について話し合いの進め方に沿って合意形成を図り、仲よく助け合って実践している。
	5年 楽しく豊かな学級や学校の生活をつくるために、問題を発見し、解決方法について多様な意見のよさを生かして合意形成を図り、信頼し支え合って実践している。
主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度	1年 学級生活を楽しくするために、見通しをもったり振り返ったりしながら、自己の考えをもち、役割を意識して集団行動に取り組もうとしている。
	5年 楽しく豊かな学級や学校の生活をつくるために、見通しをもったり、振り返ったりしながら、自己のよさを発揮し、役割や責任を果たして集団活動に取り組もうとしている。

4 活動の流れ

月 日	○活動の内容 ・児童の思いや願い	☆指導上の留意点と 研究に関わる視点	◎目指す児童の姿 【観点】〈評価方法〉
9月19日 (火) 昼学習	○学級目標が達成できているか振り返り、宝石が40個貯まったら、お楽しみ会で何をしたいか、意見を募る。 ・ゲーム・おにごっこ	☆アンケートを作成し、児童の意見を集約しやすくする。	◎目標を意識して過ごしているか考える。 【主体的態度】〈観察〉
9月20日 (水) 休み時間	○提案者が、どんな案でごほうびお楽しみ会をして、何をみんなで決めていけばよいかを考える。	☆アンケートを基に、提案内容を検討する。具体的な内容になるよう考えを明らかにしていく。	
9月22日 (金)	○原案発表会をし、提案内容を知り自分の意見をもつ。 ・いす取りゲームがしたい。 ・おにごっこがいい。 ・スライム作りをしたい。	☆原案シート準備する。 ☆お楽しみ会のイメージがもてるよう、可能な範囲で活動内容を実践し、自分の意見がもちやすくなる。→視点1	◎自分の考えと理由を原案シートに書き込んでいる。 【主体的態度】〈原案シート〉
9月28日 (木) 休み時間	○司会者は、進行の確認をする。 ○提案者は、原案の確認をする。	☆安心して進行できるよう、教師と一緒に読み合わせをしてイメージをつかみやすくする。	◎自分の役割、話合いの進行の仕方等を理解している。 【知識・技能】〈原案シート・観察〉
9月29日 (金) 本時	○ごほうびお楽しみ会の内容について話し合い、決定する。 ○お楽しみ会の分担や準備をする。	☆学習シートやICTを活用し、自分の考えや話し合いの内容を整理しやすくする。 ☆準備ができて、みんなで楽しめるものに合意できるようにする。 →視点1・2	◎よりよい取り組みが具現化できるよう、友達の意見を聞きながら、理由を明確にし、自分の意見を発表する。 【思考・判断・表現】 〈発言・観察・原案シート〉
10月1日 (月)	○ごほうびお楽しみ会の準備をする。	☆必要な物の準備と時間調整をする。 →視点2	◎自分たちで決めたことに、責任をもって取り組んでいる。 【主体的態度】〈観察〉
10月2日 (火)	○ごほうびお楽しみ会	☆自分たちで実現できたことを価値付け、次の目標達成につなげるための意欲付けを図る。→視点2	

5 本時のねらい

ごほうびお楽しみ会の内容を話し合うことを通して、これまでの頑張りを認め合い、主体的に学級目標を意識して生活しようという意欲につなげることができる。

6 個別の実態と評価規準

	児童の実態	個人目標	評価規準
A	○目的に沿って活動内容を考え自分の意見を伝えることができる。 ○意見をまとめたり、譲ったりすることは慣れていない。	○提案者として、原案シートに沿ってお楽しみ会の内容を提案することができる。 ○友達から出た意見を合わせて合意形成することができる。	○原案シートに沿って、提案している。 ○1年生の思いをくみいれながら、よさに着目して合意形成をしている。
B	○事前に紙に書けば、自分の考えを発表することができるが消極的な面もある。 ○意見をまとめることには慣れていない。	○友達から出た多様な意見のよさを生かして合意形成することができる。	○1年生や友達の思いをくみいれながら、よさに着目し、合意形成している。
C	○目的に沿って、意見を発表したり、譲ったりすることができるが、考えが変わりやすい。 ○意見をまとめることには慣れていない。	○友達から出た多様な意見を合わせて合意形成することができる。 ○司会者として、公正に会を進めることができる。	○1年生の思いや自分の思いのそれぞれのよさに着目して、合意形成している。 ○司会者として、会の進行ができる。
D	○自分の考えを理由を付けて発表できるが、自分の考えのみを主張しがちである。	○話合いの進め方に沿った意見の発表の仕方や他者の意見の聞き方を実践することができる。	○友達の考えや意見のよさに気づいて、合意形成することができる。
E	○自分の考えを発表できる。友達の考えにも寄り添うことができるが、その場の状況に流されがちである。	○話合いの進行に沿って、合意形成を図り、仲よく助け合って実践することができる。	○友達の考えや意見のよさに気付いて、合意形成することができる。

7 本時の展開

議 題	がっきゅうをもっとよくしよう ～ごほうびおたのしみかいをしよう～
提案理由	宝石が40個貯まり、ごほうびお楽しみ会をすることで、また頑張れるようにしたいから。
話合いのめあて	よりよい内容にするため、友達の意見をよく聞きながら、自分の意見を発表しよう。

子どもの活動	・教師の支援等
① はじめの言葉 ② 司会の紹介 ③ 議題の確かめ	・読みやすいよう分かち書きを入れた司会進行表を準備する。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> がっきゅうをもっとよくしよう～ごほうびおたのしみかいをしよう～ </div>	
④ 提案理由・原案の説明 宝石が40個貯まり、ごほうびお楽しみ会をすることで、また頑張れるようにしたいから。 ⑤ 話合いのめあての確かめ ・よりよい内容にするため、友達の意見をよく聞きながら、じぶんの意見を発表しよう。 ⑥ 先生の話 ・話合いのときに、お互いの意見をよく聞きましょう。 ・友達の意見のよさを見つけられるといい。 ⑦ 話合い <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>本時で話し合うこと</p> <p>ごほうびお楽しみ会で、何をするか話し合う。</p> <p>〔はしら1〕どんな内容がよいか。</p> <p>予想される考え</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宝さがしなどのゲーム ・スライム作りなどの制作活動 ・両方やりたい。 <p>〔はしら2〕プログラムと役割分担について話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・はじめのことば ・代表あいさつ ・ゲーム（又は、制作） ・感想 ・先生から ・おわりのことば <p style="text-align: center;">・「ごほうびお楽しみ会」という、名前でよいか。</p> </div>	原案を事前に掲示しておく。 ・発達段階に応じた学習シートを使って、自分の考えを事前にもち話合いを進める。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>視点1</p> <p>意見を比べあう場面では、5年生と1年生の組を作り話し合うことで、多様な意見のよさを生かした合意形成ができるようにする。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・話し合いにICTを活用することで、組ごとの話合い後、意見を共有できるようにする。 ・意見を比べる場面とまとめる場面では、教師と支援員が話合いに適宜入り、イラスト等を用い、話合いの内容を理解しやすくしたり、考えを整理したりできるようにする。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>視点2</p> <p>決め方の視点を「準備ができるか」と「みんなが楽しめるか」とし、よりよい意見を選択したり、まとめたりできるようにする。</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>視点2</p> <p>お楽しみ会を実施することで、まためあてを達成し宝石を貯めようという意欲を継続できるようにする。</p> </div>
⑧ 決まったことの確かめ ⑨ ふりかえり ⑩ 先生の話 ⑪ おわりの言葉	

